北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	管理会計論Ⅱ	科目コード	1468	単位数	3
担当者名	橋元　理恵	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	E	実務経験	無
ナンバリング	FAc507	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

管理会計（management Accounting）は、経営管理のための会計です。会計は、経済社会のナビゲータで、会計によって測定される収益やコストを考えない企業組織はありません。
経営管理は会計を軸として仕組みが成り立っていて、組織の計画(planning）と管理(control）に関する諸活動に役立つ情報を提供するとともに、これまで実施した経営の計画や管理が適切かどうかを診断し、より望ましい方向を示すという機能があります。
この授業では企業のケースを交えながら、経営の現場で管理会計の活用されている実情を学び、経営を会計から捉える能力を身につけます。

到達目標

1.実際の企業の経営活動において、ケースを交えて管理会計の活用方法を理解、習得できるようになる。
2.管理会計の活用ケースを自ら見出し理解し、そのケースを自らのことばでプレゼンテーションし、他者に理解してもらう能力を身につける。

授業内容

1週目 イントロダクション：管理会計とは、この授業の進め方
2週目 CVP分析
3週目 予算管理
4週目 業績評価
5週目 標準原価計算
6週目 第1回理解度確認テスト（2週～5週分）、解答・解説、質疑応答
7週目 原価企画
8週目 ABC・ABM
9週目 ミニプロフィットセンター
10週目 SCM
11週目 第2回理解度確認テスト（7週～10週分）、解答・解説、質疑応答
12週目 品質コストマネジメント
13週目 ライフサイクルコスティング
14週目 環境コストマネジメント
15週目 期末テスト、総括
16週目 まとめと討議
但し、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合には補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・授業ではレジュメを配布します。
・予習（各回30分程度）では、次回授業のケースを読んで授業に出席してください。
・復習（各回90分程度）では、講義内容をノートにまとめる等で授業の理解を深めてください。
・提示した課題は必ず取り組むこと。
・レポート課題についてはLMSで告知します。

成績評価の方法・基準

・授業への参加（出席ではなく、授業での発言、発表など積極的に参加しているか）（20%）、理解度確認テスト・レポート（45%）、期末テスト（35%）で総合的に評価します。
・欠席回数が5回に達した場合は成績評価の対象外とします。

履修上の留意点

・毎回新しいトピックスについて学びます。遅刻をすると授業内容の理解が難しくなりますので、遅刻はしないでください。
・授業中は質疑応答やディスカッションも行いますので自身の考えや意見を述べ積極的に授業に参加してください。
・授業中は授業目的以外のスマホの利用（メール、SNS、ゲーム等）をしないでください。
・授業中の飲食は禁止します。机上に飲食物を置くことも禁止です。
・授業中は私語等の迷惑行為は慎んでください。
・manabaを通じて授業についての告知を行いますので、manabaは適宜確認してください。
・追試、再試は行いません。
・管理会計の基礎的な知識を学ぶために参考書の谷武幸『エッセンシャル管理会計＜第4版＞』をおすすめします。管理会計の基礎を予習、復習する場合、この参考書での学習が望ましいです。

課題に対するフィードバックの方法

・理解度確認テストの後で、解答と解説を行います。理解度確認テストを受験するだけでなく、必ず解答と解説の時間も受講し各自自己採点をして自らの学びについての自己点検をしてください。
・提出されたレポートはコメントをしてフィードバックします。

テキスト

レジュメを配布します。

参考書

・谷武幸『エッセンシャル管理会計＜第4版＞』（中央経済社）3,080円
・その他必要に応じて適宜紹介します。

更新日付

2026/01/27 02:29